



平成25年11月25日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山下史朗  
(コード番号 4047 東証第1部)  
問合せ先 人事総務部専任部長 徳升聡司  
(TEL. 03 - 3257 - 0371)

平成26年3月期 第2四半期決算説明会資料


当社では、本日11月25日、機関投資家・証券アナリスト向けに平成26年3月期 第2四半期決算説明会を開催いたします。

平成26年3月期 第2四半期決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

平成26年3月期  
第2四半期決算説明会

---

 関東電化工業株式会社  
平成25年11月25日

1

説明内容

---

1. H26/3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

## 事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学 品事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学 品事業	フッ素系 製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、五フッ化ヨウ素、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、六フッ化リン酸リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化工業株式会社

3

## 関東電化グループ(連結子会社)

(単位:百万円)

	資本金	出資 比率%	H25/9末 個別売上高	対前年同期 増減	主要な事業内容
関電興産(株)	10	100.0	2,553	△353	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店
(株)上備製作所	120	49.4	2,038	567	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業(株)	27	52.9	447	5	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA (株)	2 億ウォン	90.0	2,634	△87	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份 有限公司	7 百万NTドル	100.0	1,243	527	フッ素系製品の販売

合計	8,917	660
----	-------	-----

関東電化工業株式会社

4

## 連結決算のポイント

(単位:億円)

	H24/9	H25/9	差額
売上高	164	174	10
営業利益	△9	4	13
当期純利益	△81	4	86

- (1) 売上高増加 (+10億円)  
・基礎化学品(△2億円)、精密化学品(+5億円)、鉄系・商事・設備(+7億円)
- (2) 営業利益改善 (+13億円)  
・売上高の増加や費用の削減により改善
- (3) 当期純利益改善 (+86億円)  
・前年同期は特別損失(減損損失・事業構造改善費用等)の計上(44億円)と減繰延税金資産を取り崩し(25億円)たことによる。

関東電化工業株式会社

5

## 基礎化学品事業部門

(単位:億円)

	H24/9	H25/9	差額
売上高	34	32	△2
営業利益	△0	△1	△1

- ・売上高は、か性ソーダの販売数量の増加があったものの、トリクロールエチレン等の塩素系有機製品の販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となった。
- ・営業利益は、販売価格の低下や原燃料価格の上昇等により、前年同期に比べ営業損失の拡大となった。

関東電化工業株式会社

6

## 精密化学品事業部門

(単位:億円)

	H24/9	H25/9	差額
売上高	98	103	5
営業利益	△10	2	13

- ・三フッ化窒素および六フッ化タンゲステンは、販売価格は低下したものの販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となった。
- ・電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となった。
- ・営業利益は、売上高の増加と費用の削減により、前年同期の赤字から、黒字となった。

関東電化工業株式会社

7

## 鉄系・商事・設備事業部門

(単位:億円)

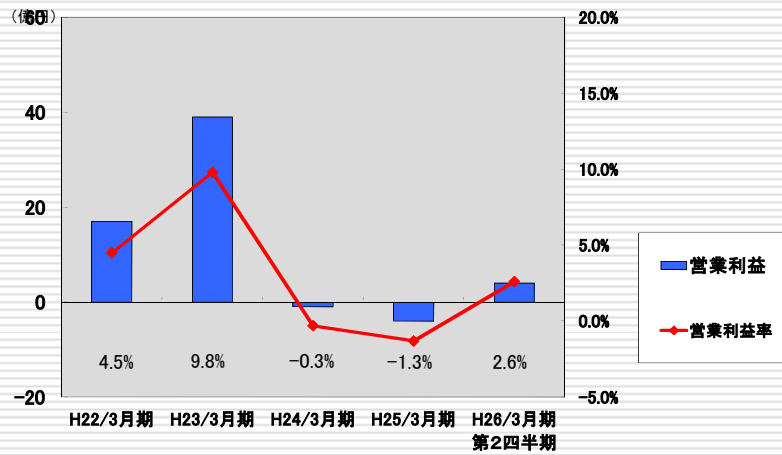
	H24/9	H25/9	差額
売上高	30	38	7
営業利益	1	3	2

- ・鉄系事業は、キャリアーの販売数量の増加により、前年同期に比べ増収増益となった。
- ・商事事業は、連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売が減少により、前年同期に比べ減収減益となった。
- ・設備事業は、連結子会社である上備製作所における請負工事の増加により、前年同期に比べ増収増益となった。

関東電化工業株式会社

8

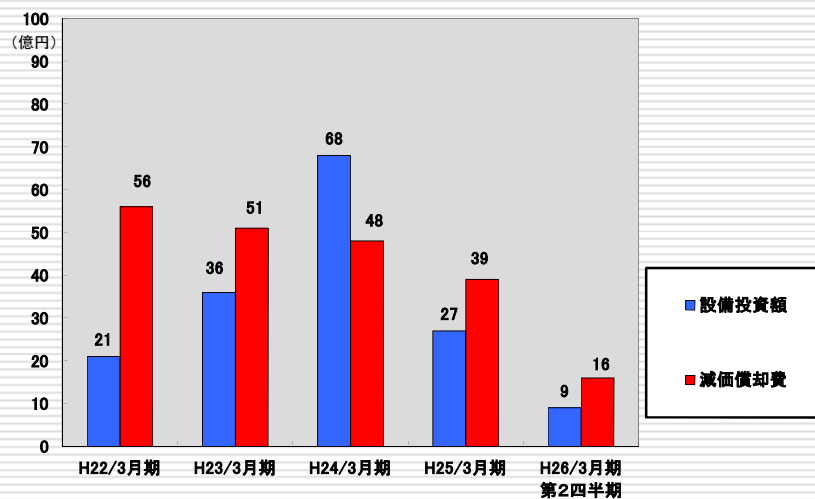
## 営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

9

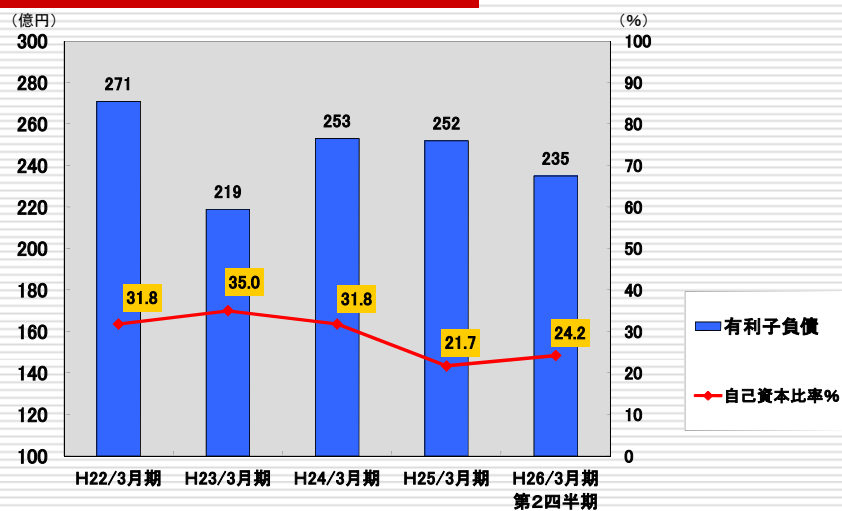
## 設備投資・減価償却費の推移(連結)



関東電化工業株式会社

10

## 有利子負債・自己資本比率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

11

## 説明内容

1. H26/3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

関東電化工業株式会社

12

## セグメント別業績予想(連結)

(単位: 億円)

	売上高			営業利益		
	H25/3 実績	H26/3 当初見込	修正後 見込	H25/3 実績	H26/3 当初見込	修正後 見込
基礎	70	71	69	△0	1	△1
精密	210	215	211	△6	9	3
その他※	62	74	75	2	5	5
合計	343	360	355	△4	15	7
設備投資	27	21	21	※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。 ※為替レート見込: 90円/\$		
減価償却	39	33	33			
研究開発費	9	9	9			

関東電化工業株式会社

13

## セグメント別業績(連結) 上期当初予想と実績の差

(単位: 億円)

	売上高			営業利益		
	上期 当初見込	上期 実績	上期差額	上期 当初見込	上期 実績	上期差額
基礎	34	32	△1	0	△1	△1
精密	99	103	4	1	2	1
その他※	37	38	1	2	3	1
合計	170	174	4	3	4	1

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

14



## セグメント別業績予想(連結) 下期当初予想との差

(単位: 億円)

	売上高			営業利益		
	下期 当初見込	下期 見直し	下期差額	下期 当初見込	下期 見直し	下期差額
基礎	37	37	0	1	1	0
精密	116	107	△9	8	0	△8
その他※	37	36	△1	3	2	△1
合計	190	180	△10	12	3	△9

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

15

## セグメント別業績予想(連結) 上期下期比較

(単位: 億円)

	H26/3売上高			H26/3営業利益		
	上期実績	下期見込	差額	上期実績	下期見込	差額
基礎	32	37	4	△1	1	2
精密	103	107	3	2	0	△2
その他※	38	36	△2	3	2	△1
合計	174	180	5	4	3	△1

設備投資	9	11	2
減価償却	16	16	0
研究開発費	4	5	0

※その他は、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

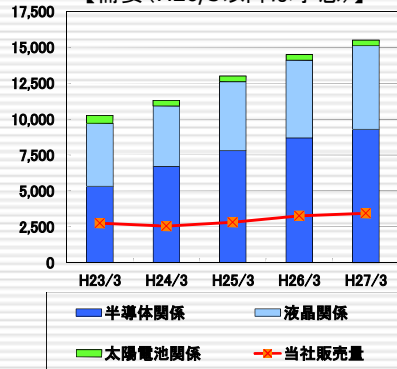
関東電化工業株式会社

16

## ー主な製品の見通しー 三フッ化窒素(NF3)

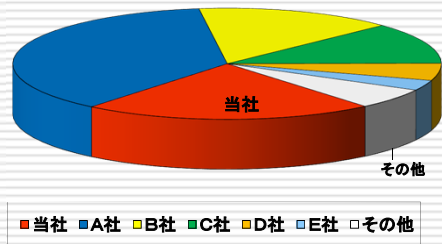
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス。
- 製造能力 3,500t/年

t 【需要(H26/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約4分の1



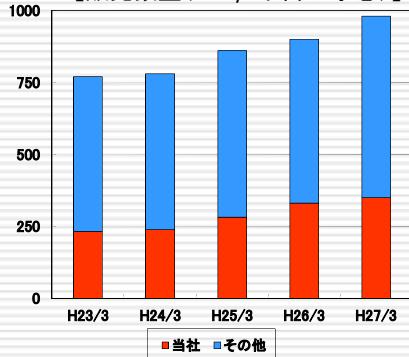
関東電化工業株式会社

17

## ー主な製品の見通しー 六フッ化タンゲステン(WF6)

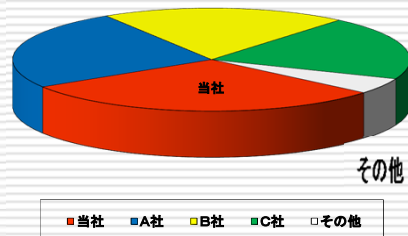
- 半導体用配線材料ガス。
- 製造能力は300t/年。

t 【販売数量(H26/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約3割



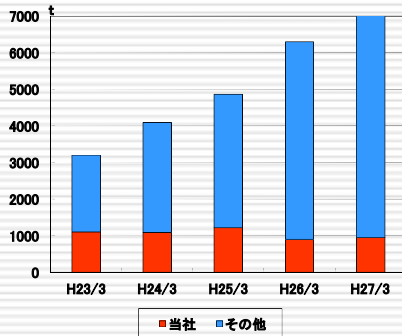
関東電化工業株式会社

18

## ー主な製品の見通しー六フッ化リン酸リチウム (LiPF<sub>6</sub>)

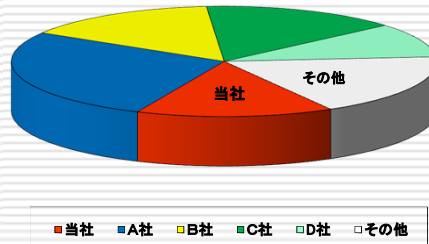
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質。
- 今後、EV等の車載向けや大型蓄電池向けの需要が期待される。
- H24年度に製造能力を2,400t/年とした。

【販売数量 (H26/3以降は予想)】



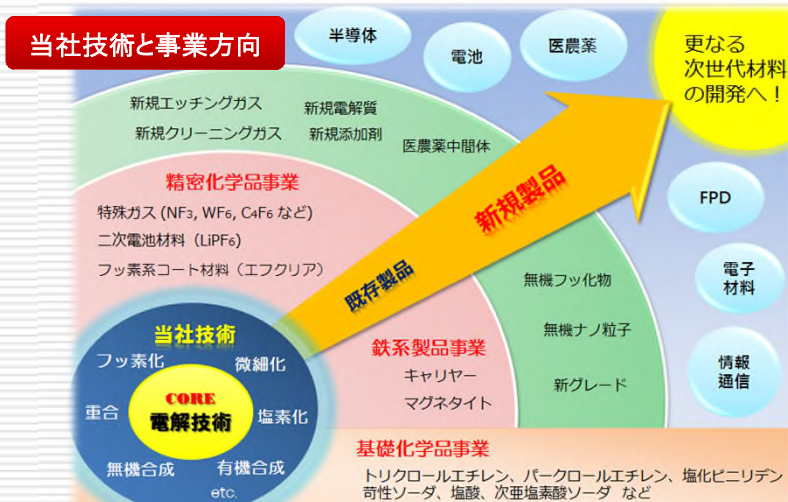
【現在のシェア予想】

当社シェアは2割弱



## 当社の目指す事業方向

### 当社技術と事業方向



## 高付加価値製品の開発

- 医農薬中間体、電子材料
- 新規無機材料(無機ナノ粒子)
- 半導体用次世代先端ガス
- 新規電池材料(添加剤、イオン液体)
- 10年後を見据えたコア技術の開発。

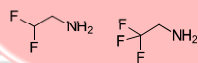
創造的開発型企业へ

21

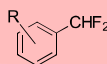
## 当社フッ素化技術

含フッ素有機化合物  
開発品例

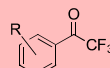
フルオロエチルアミン類



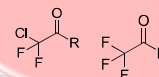
ジフルオロメチルベンゼン類



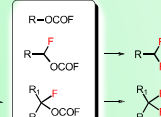
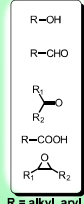
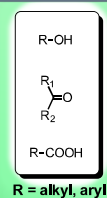
トリフルオロアセトフェノン類



ハロゲン化アセチル類



フッ素化反応例



フッ素化技術を中心に、蓄積されたハロゲン化技術に基づく受託合成などを承っています。

特徴

F<sub>2</sub>による直接フッ素化反応、SF<sub>4</sub>などの特殊フッ素化試薬を用いた反応などにも対応

関東電化工業株式会社

22

## 注意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。